

夢ある未来への まちづくりを

平山幸宏町長は17代目8人目の町長として4月7日に就任し、9日に大勢の町民と町職員に迎えられる初登庁しました。町民の先頭に立って町の舵取りをすることになった新町長に、新しいまちづくりへの抱負や施策について聞きました。



▲まちづくりへの抱負を語る平山町長

初当選を果たした 感想は…

就任からの1カ月間、各分野の方々にお会いし、ごあいさつさせていただきました。覚えることや学ぶことが多く、こうした中でも皆さんの声により耳を傾け、町政運営を進めていきたいと改めて実

感じました。那須に生まれ那須に育ち、町の皆さんのおかげで今の私があります。自然豊かなこの町で、心が触れ合う関係を町民と築いていきたいと感じています。

1期目にかける 意気込みは…

11年間、町議会議員として活

動し、うち2年間は議長を務めました。この経験の中で、子育て世代から高齢者まで大勢の皆さんの意見を聴いてきました。これから4年間の町政運営では、皆さんの意見を反映させ期待に応えられることができるよう、マニフェスト（選挙公約）の実現に向けて最善の努力をしていきます。

「わかりやすい町政・スリムな町政・やさしさある町政」を基本姿勢に、町の元気を取り戻し、夢ある未来へとつなげていきたいと考えています。

重点取り組みについて

この度の選挙では、町民の声と町の実情を踏まえ、6分野33項目に取り組むことをお約束しました。これらの取り組みは一人で実現できるものではありません。これまでの流れをよく理解し役場の各部署と調整を図りながら、進めていきます。

① 那須町地区別新生再生 計画と実現

町を、那須湯本高原、黒田原高久、芦野伊王野、夕狩豊原の4つの地区に分け、それぞれの特色や特性を生かして地域振興